（賃貸等不動産関係）

本学は国際交流会館等を保有していますが、これらの賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりです。　（単位：千円）

施設名称	貸借対照表計上額			当期末の時価
	前期末残高	当期増減額	当期末残高	
国際交流会館	106,702	△ 3,511	103,190	98,154
学生寮	354,956	△ 16,478	338,478	322,099
外国人教員宿舎	5,620	△ 5,620	—	—
緑１丁目宿舎51番地	49,363	△ 16,210	33,153	33,153

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額です。

（注２）　当期増減額のうち、主な増減額は次のとおりです。

減価償却による減少（国際交流会館）　3,511千円
減価償却による減少（学生寮）　16,478千円
売却による減少（外国人教員宿舎）　5,620千円
減損による減少（緑１丁目宿舎51番地）　16,210千円

（注３）　当期末の時価は、土地については、主として国から承継した際の不動産評価額に基づいて当法人で算定した金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）であり、建物については、国際交流会館については国から承継した際の不動産評価額に基づいて、学生寮については簿価に基づいて、当法人で算定した金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）です。

また、賃貸等不動産に関する平成29年３月期における収益及び費用等の状況は次のとおりです。

（単位：千円）

	賃貸収益	賃貸費用	その他（売却損益等）
国際交流会館	2,348	(2,940) 6,125	—
学生寮	20,125	(10,960) 26,647	—
外国人教員宿舎	—	—	(△1,731) △1,725
緑１丁目宿舎51番地	—	—	—

（注１）　賃貸費用の（　）書きは内数で、損益外減価償却相当額を表示しています。

（資産除去債務関係）

石綿障害予防規則等の規定に基づく建物のアスベスト除去、土地の使用貸借契約に伴う原状回復義務及び建物の賃貸借契約に伴う原状回復義務です。

使用見込期間を取得から16～21年と見積もり、割引率は、1.854％～2.14％を使用して、資産除去債務の金額を計算しています。

当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減（単位：千円）

期首残高	41,945
有形固定資産の取得に伴う増加額	—
時の経過による調整額	842
資産除去債務の履行による減少額	—
その他増減額	—
期末残高	42,788

（土地の譲渡に伴う資本金の減少）

名称	外国人教員宿舎
(1)　譲渡した土地の帳簿価格及びその概要	帳簿価格：3,880千円 面積：343.83㎡ 所在地：北海道小樽市入船５丁目12番１号
(2)　譲渡理由	老朽化に伴う利用率の低下等により、当該職員宿舎を廃止し、土地を譲渡することを決定したため。
(3)　譲渡収入の額	3,900千円
(4)　国立大学財務・経営センターへの納付額算定に当たり譲渡収入より控除した費用の額	1,000千円
(5)　国立大学財務・経営センターへの納付額	1,450千円
(6)　国立大学財務・経営センターへの納付が行われた年月日	平成29年３月31日
(7)　減資額	1,944千円

国立大学法人帯広畜産大学平成28事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学平成28事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

平成29年10月６日

北海道帯広市稲田町西２線11番地
国立大学法人帯広畜産大学
学長　奥田　潔

貸借対照表

（平成29年３月31日）　（単位：円）

資産の部	
Ⅰ　固定資産	
1　有形固定資産	
土地	1,217,400,000